



[NEWS RELEASE]

報道関係者各位

2019年10月2日

株式会社 薫寿堂

【株式会社 薫寿堂】

日本で唯一の和紙で出来た葉っぱをモチーフとしたお香「HA KO」

2019年度グッドデザイン賞を受賞！



株式会社 薫寿堂（本社：兵庫県淡路市、代表取締役 福永稔、以下 薫寿堂）が企画・販売している、日本で唯一の和紙で出来た葉っぱをモチーフとしたお香「HA KO」が2019年度グッドデザイン賞を受賞したことをお知らせいたします。本受賞においては、「お香を焚く」という普遍的な行為に新しい発想を付加し、ゆとりや安らぎといった情緒的な表現を視覚にも訴えかけるデザインに落とし込む事に成功し、消えかけた伝統に新たな火が灯されたことが評価され、受賞することとなりました。また、「HA KO」は、10月31日から5日間、東京ミッドタウンで開催される最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」において展示紹介される予定です。

製品名称： HA KO

製品概要： 都市部の若者向けに、日本の「香」の歴史発祥の地とされる淡路島に1893年（明治26年）創業した薫寿堂が「HA KO」を生み

薫寿堂

出しました。薫寿堂が特許を取得した製法を用い、職人の手作業で一枚一枚大切に造っています。繊細なデザインは置いて飾るだけでも美しく、気に入った形の葉っぱを拾って家に持って帰り、玄関先にそっと置いておくような気軽な気持ちで、生活に香りを取り入れてもらえるようお願いが込められています。

クレジット： プロデューサー：株式会社薫寿堂 営業本部 魚住 桂子
ディレクター：株式会社システムクリエイツ 小杉 博俊
デザイナー：株式会社東急エージェンシー アートディレクター 林 俊美

審査員コメント： お香を焚くという普遍的な行為に新しい発想を付加し、ゆとりや安らぎといった情緒的な表現を視覚にも訴えかけるデザインに落とし込む事に成功した好例である。 原体験から導き出された焚き火の記憶を元に改良を加えた和紙の繊細な形状と、香司と職人が作り上げた香りが見事に融合している。ちょっとした発想の転換だが、それを実現しようとする開発者の熱意によって消えかけた伝統に新たな火が灯された。

■GOOD DESIGN EXHIBITION 2019 年度グッドデザイン賞受賞展 -について

会期：10月31日(木)～11月4日(月)

会場：東京ミッドタウン(東京都港区六本木)

URL：<http://www.g-mark.org/gde2019/>

■「HA KO」公式サイト

<https://hako-paper.jp/>

■「HA KO」オンラインショップ

<https://hakopaper.official.ec>

■グッドデザイン賞とは



1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。



<http://www.g-mark.org/>

【「HA KO」についてのお問い合わせ先】

株式会社 薫寿堂

TEL : 0120-756-583 (フリーダイヤル)

E-mail : kobe@kunjudo.co.jp

営業時間 8時30分～17時30分 (土日・祝・お盆・年末を除く)